



## 特集：リアル版みらいずBOOK

8/4(月)  
メディアシップ  
にて  
開催しました!

**学校以外の場で、中高生が新潟の大人と本音で語り合いました**

みらいずworksの初めての学校外企画、「リアル版みらいずBOOK」を開催しました。今年5月末に発行したキャリア教育マガジン「みらいずBOOK」では、新潟で生き活きと働く大人たちをご紹介しましたが、紙面では語りきれない生の声を直接会って聞いてほしい!そんな想いから「リアル版」の企画を温めてきました。

**自分の意志でこの場に来てくれたこと、  
将来に向き合おうとしてくれたことが、なにより嬉しい**

夏休み中はなにかと忙しい生徒たち。学校のカリキュラムとして職業講話を受けるのとは違い、自分で「行きたい」という気持ちになって足を運んでくれるかな…と、不安がちらっと頭をよぎったこともありましたが、これまでの授業の経験から、生徒たちが身近な親や先生だけでなく、いろんな大人の話を知ることができて、知らない世界に興味を持つきっかけを探していると感じ、こうした場がきっと生徒たちの力になるはずだと確信していました。当日は先生方や多くの方のお声かけのおかげでほぼ定員いっぱいの大盛況となりました。学校や学年を超えた同じ世代の仲間や大人たちと膝を付き合わせて語った時間はかけがえのないものとなりました。





## 目の前の大人が話す言葉には、ものすごく説得力がある それぞれに今のお仕事につくまでの物語があります

集まっていた社会人ゲストは10人。新潟で活き活きと働く方々です。中高生にどうやって話そうかと皆さん頭を悩ませ、学生の頃を振り返ったり、今の仕事のやりがいて何だろうと改めて自分を見つめてみたりしながら、20分という短い時間をとても上手くまとめていただきました。お仕事の紹介だけでなく、大人になるってどういうことなのか、中高生として今できることは何なのか、青春って何だろうといった対話をたくさんしました。生徒たちが日頃感じている悩みやつぶやきを社会人ゲストが受け止め、本音と本音で話し合う温か〜い空気が生まれていました。

植木 和歌子さん  
行政職員



太田 誠さん  
農家



### 中高生と喋りてみて… 社会人ゲストより

- ・仕事をして働くということが、生きている中で何なのかという疑問とした当然のギモンをみんながもっている
- ・最後のワークで今の自分達にできることを考えたいと行ってくれたのが印象的でした。
- ・思っていることをなかなか言えないような印象を受けた。
- ・今日感じた空気をいかしたアルバムを作る。
- ・自主的で前向き、悩める青春に、話かけてうれしかった。
- ・食育イベントと一緒にやってみたい、など

みらいBOOK  
12p 登場  
廣川 明美さん  
アナウンサー



みらいBOOK  
4p 登場  
平林 由成さん  
警備会社の人事



みらいBOOK  
13p 登場  
松葉 大輔さん  
アルバムデザイナー



みらいBOOK  
8p 登場  
本田 龍輔さん  
国際協力推進員



みらいBOOK  
8p 登場  
田巻 こずえさん  
日本酒づくり職人



土屋 裕行さん  
システムエンジニア



岩上 寛さん  
総務総務ディレクター



川瀬 聖志さん  
福祉コーディネーター

### 生徒たちの心に響いた言葉

- 「あきらめなければ、たいていのことはできる」
- 「100%はできなくても1%はできる」
- 「本当に小さなことから人のためになれる」
- 「失敗を次に活かしがんばる!」「何回も練習」
- 「本気さが感動をうみだす」「たくさんのことに興味を」など

### 感想

日本の食について真剣に話し合った/学校でやってみたいと思いました/夢をかえるのは無理ではない/自分らしくすることで新しい発見がある/「青春」というテーマで深いトークができた/今苦しむことで将来が輝くのだと思った  
生活や仕事をとても大事にするところに共感した/人の数ほど人の考えがあるんだな/今を大切にしよう/今しかできない(勉強・遊び・部活・仲間作りなど)をたくさんやっていきたい。

① 中高生たちが観覧と受付に。  
はじまるよ〜!



③ みらいBOOKのワークの紹介をして、  
ゲームでスタート!



⑤ 生徒たちは2人のお話の  
お話を聞きます(各20分)。  
ゲストの方々から写真・仕事で使う  
道具・製品など様々な、お話を  
分りやすく興味深いお話でした。



⑦ 授業に響いた言葉や感想を  
書き出して共有します。学校  
や学年を超え、初めて出会っ  
た世代の仲間たち。最初は  
紙本でいたけれど、あっさり  
打ち解けて自分の意見を表  
しています。



こんなふう  
にすすめました



② その間にゲストは園舎を打ち合わせ  
お話を聞きたり質問の時間をとります!



④ アイスブレイクゲームの「本気じゃんけん」  
楽しい盛り上がりみんなの笑顔の場面。



⑥ 班に分かれてワールドカフェ。「将来」の話し、  
「中高生のうちでできること」など話し合うテーマはいろいろ。



⑧ 夢中になって取り組んだゲームと振り返り  
「楽しかった」「おもしろかった」などお話を聞きたり質問の時間をとります!



# 円卓?じゃない 「えんたくん」で ワールドカフェ

リアル版みらいずBOOKで初使用したのがコレ!  
円形の段ボールがみんなの隣に乗って  
テーブルになるんです。



同じ円形の用紙を載せて、話し合いながら気づいたことを自由に書き込んでいきます。社会人ゲストと中高生、みんなの足で支えている一体感がなんともいい!  
会場には11のテーブルができました。  
話し合いのテーマはそれぞれ「学生の間にやっておくといいいこと」「中学生としてやっておくといいいこと」「in the future」などなど…。  
モヤモヤと考えていた疑問や悩み、たくさんの想いが溢れてきました。



## INFORMATION

中高生向けキャリア教育マガジン  
「みらいずBOOK」の第2号の制作が  
いよいよ始まります!

近い将来、社会の一員となっていく子どもたち。  
そんな子どもたちが自分らしい「みらい」を歩んでいくために、  
新潟で働く大人の想いや人柄、今にたどり着く道のりをありのままに取材・作成し、  
中高生に届けます。

あなたのご寄付が中高生に未来を描くキッカケに  
第2号以降は、配布エリアを新潟県内全域に拡大し、より多くの中高生に届けたいと計画中です。何卒ご協力のほどよろしくお願いたします。  
詳細は、下記連絡先までご連絡ください。



代表 小貝まこと 事務局長 本渡純真  
〒950-2002  
新潟県新潟市西区青山5丁目8-22  
TEL&FAX: 025-232-6141  
e-mail: info@miraisworks.com  
HP: http://www.miraisworks.com/

みらいず  
BOOK

平成26年度中に  
新潟市や近隣市町村の  
中学1年生、高校1年生に  
無料配布の予定です。

子どもと大人のみらいづくりをテーマに活動する教育NPOです。  
誰もが自分らしく「わくわく」と生きられる社会を目指し、増づくり・教材づくり・しくみづくりに取り組んでいます。学校支援事業を柱とし、地域の教育力を高める地域づくり事業、社会の抱える課題を育てる社会づくり事業を通して、教育の当事者を増やし、みんなで次世代の子どもたちを育てるしくみをつくりたいです。